

# THE LATEST DOSHISHA

## 法人部

### ●故齋藤亥三雄先生追悼礼拝

7月28日(日)

於 新島記念講堂

10月12日(土)

### ●第17回東京新島講座

“メディアの公正と社会的責任”

講師 渡辺武達 (大学文学部教授)

“明治国家以後の宗教異変”

—今、求められるもの—

講師 武 邦保 (女子大学教授)



於 有楽町朝日スクエア (有楽町マリオン11階)

### ●同志社教職員研修会

11月8日(金)

“Recent Changes in Australian Education-Impacts for International Educations”

講師 テリー・ジョン・ホワイト

(オーストラリア大使館参事官  
(教育)、オーストラリア政府国  
際教育機構日本事務局代表)

### ●外国人教員懇談会

12月7日(土)

於 京都ガーデンパレス

### ●年賀交換会

1月6日(月)

於 有終館第1会議室

### ●第22回(1999年度)同志社教職員研修会

1月25日(土)

“現代の若者と宗教”

講師 浅見定雄 (東北学院大学教授)

於 大学明德館1番教室

### ●松山総長が4選

二月十二日の総長選挙で松山総長が4選され、二月二十二日の理事会で正式決定した。任期は四月一日から4年。

## 大学

### ●97年度から昼夜開講制スタート

昨年12月19日、昼夜開講制が文部省から認可され、97年4月からの施行が決定した。

「昼夜開講制」は、昼間の授業を主として履修する「昼間主コース」と、夜間の授業を主として履修する「夜間主コース」の二コースで構成される。従来の第一部と第二部という区別はなくなる。従来の第二部(夜間)は廃止となることから、97年度からの学生募集を停止した。

昼夜開講制を採用する学部は、文学部（英文学科と文化学科国文学専攻）、法学部、経済学部、商学部で、これによって当該学部の定員は文学部が千二百人から千八百八十人に、法学部が九百人から千五十人に、経済学部が九百人から千百人に、商学部が九百人から千百人にと、それぞれ変更された（神学部と工学部は現行どおり）。

新制度が従来の一・二部制とどう違うのかということだが、一定の条件のもとで昼間主コースの学生は夜間の、夜間主コースの学生は昼間の授業を受けることができるということが最も異なる点だろう。全学生が各自のライフスタイルに応じて受講時間を選択できる、いわばフレックス・コース制と考えることができる。だから昼間に働いている社会人なども、たとえば夜間の時間帯と土曜の授業を受けて卒業に必要な単位が修得できるなど、従来よりも格段に柔軟な学習プランが立てられるのが特徴である。

97年度入試はすでに行われたが、特に社会人の受入れを積極的に行うため、文学部と経済学部が、夜間主コース志願者を対象に社会人特別選抜入学試験を実施した。

## ●96年度同志社大学大学院春学期学位授与式

96年度大学院春学期学位授与式が10月3日に至誠館会議室で行われた。この授与式は、94年度にアメリカ研究科が秋学期入学制度を開始したことを受けて、今年度から実施されることになった。今年は、アメリカ研究科5人、総合政策科学研究科3人に修士学位が授与された。

## ●戦争で中退の朝鮮・台湾籍の元同志社大学学生に「特別学位」贈呈

第二次世界大戦中に中途退学を余儀なくされた朝鮮籍、台湾籍の元留學生に対する「特別学位」贈呈式が11月16日、同志社礼拝堂で行われた。

今年8月、1942年4月から1945年4月までの間に、同志社大学、同志社大学予科、同志社専門學校に入学した元留學生に対し、韓国の『朝鮮日報』と『東亜日報』、および台湾の『聯合報』と『中国時報』に公告を掲載してよびかけたところ、9人が名乗り出られた。式典にお迎えしたかたがたは次のとおりである。

李 載春さん（夫・大席・子息美妻が代理出席）  
田 千秀さん（故人・子息夫妻が代理出席）



李 鐘祿さん（韓国全北道群山市）  
吳 景盛さん（台湾台北市）  
金 寛洙さん（韓国全南順天市）  
崔 炳海さん（韓国京畿道城南市）  
南 炳憲さん（米国カリフォルニア）  
金 一龍さん（韓国ソウル市）  
張 在敏さん（米国カリフォルニア）

（入学年月順・カッコ内は在住地）

式典は通常の卒業式とほぼ同一の式次第で行われ、岩山大学長が出席者一人ひとりに、「あなたは第二次世界大戦中やむなく本学を離れざるを得なくなりましたが、在学中の学業精励を賞し、またこのような不幸な歴史の繰り返されることのないよう願いを込めて、大学評議会の決定により特別学士（同志社大学）の特別学位を贈呈します」と記された「特別学位記」を手渡した。半世紀を経て学位記を手にされた先輩の中には、涙をぬぐう姿も見られた。

記念撮影の後、新島会館で特別学位贈呈記念パーティーが開催され、招待者は当時の学友と半世紀前の体験を語り合うなど、旧交を温めた。

なお式典から2月までの間に、さらに次の2人の方から申出があり、同様の特別学位を贈呈した。

金 渭謙さん（韓国ソウル市）

李 河鎮さん（韓国ソウル市）

### ●今出川キャンパスの整備が急ピッチ

工学部が田辺に統合移転した後の今出川キャンパスでは、時代を見すえた構内整備が着々と進んでいる。また田辺キャンパスでも創考館を中心に、文部省の補助対象に

なっている96年度私立大学ハイテク・リサーチ・センター構想に係る改造整備工事が行われたが、ここでは今出川キャンパス整備の主なものを紹介する。

#### ① 啓明館改修工事

1階は社史資料室事務室、EU資料室、2階は国際センター所長室、国際課事務室、資料室、留学生ラウンジ等として整備。3階は人文科学研究所事務室の内装工事を行った。

#### ② 神学館改修工事

2階を神学研究科の大学院、共同研究室、演習室、ラウンジ、閲覧室、研究室事務室等として整備。

#### ③ 明德館改修工事

教室（M1、M2、M21）を整備。  
M1教室は席数260席となりプレゼンテーション教室として整備された。また寧静館メディア工房と光ケープルで結ばれ、120インチリアスクリーン2面を設けた。

M2教室はラウンジとして整備し、一部ギャラリイとしても使用できる設備を備えている。ラウンジは10月にオープン。廊下側は全面ガラス張りである開放的な雰囲気

のラウンジとなっている。

M21教室は席数921席（補助席を含む）となり、200インチスクリーンを備えた。さらに、明德館地階東部分の南側購買施設を改修しラウンジとする工事が進行中である。

従来の生協購買施設は、改修された弘風館地階に移転した。

#### ④ 寧静館改修工事

2階西側をメディア工房（スタジオ、調整室、コンピュータ室）、情報メディア課事務室として整備を行った。メディア工房と明德館1番教室、至誠館2番教室とは光ケープルで結ばれている。

### ●「宗教センター」が名称変更

12月5日、今出川校地「宗教センター」が「待辰館（たいしんかん）」と名称変更された。これは、詩編130編「まことに衛士があしたを待つにまさりて主を待てり」に因む。なお、田辺校地の宗教センターの名称は従来どおり。

### ●新島生誕記念懸賞論文入賞者の表彰

人文科学研究所同志社社史資料室第一部門研究が募集した新島襄生誕一五四年記念懸賞論文に、同志社諸学校をはじめ、新島学

園、敬和学園、風間浦中学校などから学生・生徒850人の応募があり、厳選の結果、次の論文が入選。入選者17人が2月10日の第154回新島襄先生生誕記念会で表彰された。

第一位 「ロビンソン・クルーソーの祈り」  
神保夏子（同志社中学）

第二位 「女子部に寄せる新島の想い」

北川貴子（同志社女子高校）

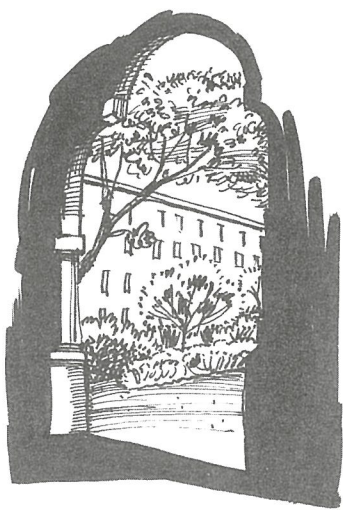
第三位 「大冒険家」新島襄」

中津正太（風間浦中学校）

ほか3人。佳作10人。努力賞1人。

### ●大学の郵便番号変更について

1996年8月1日から超大口事業所郵便番号（〒602—80（事業所名）同志社大学）が付定された。これにともない、今出川校地



に差し出される同志社大学宛の郵便物については、郵便番号が記載されていれば住所の記載は省略することができる。返信用封筒をはじめ発行物、発信物には〒602—80と明記してください。

## 女子大学

### ●同志社大学との単位互換制度を開始

1997年4月より学芸学部・生活科学部の新2年次生以上を対象に、同志社大学との単位互換制度がスタートする。これにより工学部を除く同志社大学各学部の科目の一部（計200科目以上）を履修すること

ができるようになる。（ただし、年間に通年科目で1科目、半期科目で2科目まで）

さらに、2年次生についてはこの制度で修得した単位は自由学芸科目として卒業に必要な単位に算入することができ、学生の授業選択の幅はますます広がることとなる。

### ●大学院文学研究科日本語日本文化専攻を新設

1997年4月から大学院文学研究科に従来の英文学専攻に加え、新たに日本語日本文化専攻が誕生する。女子教育においても強く求められている教育研究の多様化、学際化に応え、この日本語日本文化専攻では研究者の養成のみならず、外国人を対象とする日本語教員や学芸員・中高教員などに対する高度職業人教育を目的としている。このため同志社女子大学の理念である「リベラルアーツ」「国際主義」を基盤に様々な分野を研究対象としながら旧来の枠組みを越えて、日本文化を言語・文学・思想・宗教・芸術・環境などさまざまな文化の総体として、さらには東西文化の融合体として捉え、日本の文化的所産の国際社会への還元および異文化の理解だけでなく様々な今日的課題に積極的に対応できる人材の育成を

めざす。

また、社会人・主婦・外国人留学生にも大きく門戸を広げている。このため、様々な教育研究支援システム、さらにはサテライトキャンパス方式を採用しており、これにより田辺キャンパスと併せて、今出川キャンパスでも授業を受けられる。

### ●同志社女子大学のホームページを開設

1996年11月22日より同志社女子大学のWWWサーバの運用を開始。同時に同志社女子大学のホームページを開設した。主な内容は大学紹介、入試情報、他のサイトへのリンクなどとなっている。ホームページのアドレスは

<http://www.dwc.doshisha.ac.jp>

### ●日本語教師アシスタント

オーストラリア・ヴィクトリア州の公立学校(小学校及びセカンダリーカレッジ)で日本語・日本文化の授業アシスタントをするプログラムで、ヴィクトリア州学校教育局(州単位の文部省のような組織)が、その傘下にある公立学校と協力してプログラムを実施する。アシスタントに対する管理責任者は勤務先の学校長で、期間は原則として1年間。給与は支給されないが、ホームス

テイが無料で提供される。

97年度の募集は卒業生及び卒業年次生を対象として既に終了し、4月初旬に日本を出発する。なお、98年度は卒業年次生のための募集となる予定。

## 高等学校

### ●2学期始業式

9月3日(火)

### ●メルボルン・ウェスリー校生来校

9月24日(火)

生徒9人 付添アン・キンバリー先生  
とロビン・ハンセン氏(校長秘書) 10月12日まで滞在

### ●岩倉祭

10月3日(木)～7日(月)

### ●入試説明会

(3日運動会 8日代休)

10月11日(金)

同中以外の中学校担当者対象

### ●進学説明会

10月12日(土)

同中3年生保護者対象

### ●入試説明会

10月19日(土)

同中以外の保護者対象

### ●中間試験

10月21日(月)～26日(土)

### ●教職員健康診断

10月23日(木)

### ●宗教週間

11月5日(火)～9日(土)

講師 大澤 宣(紫野教会牧師)

「何があたりまえか」

荒川共生(関西セミナーハウス主事)

「分かち合うこと」

マーサ・メンセンディック

(同志社大学専任講師)

「境界線を越えて」

梶原 寿(名古屋学院大学教授)

「仕合わせとは何か」

### ●保護者面談

11月7日(木)

### ●人権学習

11月13日(木)

土曜日の時間割とし、午後、全校一斉これに当てる。

### ●教職員修養会

11月16日(土)

講師 本井康博(同志社大学嘱託講師)

「いま新島襄は―自責の杖事―件をめぐる―」

於 関西セミナーハウス

11月29日(金)

### ●創立記念日

11月30日(土)

### ●期末試験

12月5日(木)

### ●クリスマス礼拝

12月9日(月)

### ●家庭クリスマス

12月14日(土)

本校食堂に数十人集い、楽しい一時を過した。

## 香里中高

## ●2学期始業式

9月2日(月)

## ●文化祭

9月22日(日)

## ●中学体育祭

9月28日(土)

## ●教職員健康診断

10月9日(水)

## ●学校説明会(高校)

10月12日(土)

## ●中間テスト

10月18日(金)～22日(火)

## ●学校説明会(中学第2回)

10月19日(土)

## ●一斉テスト

10月19日(土)～22日(火)

## ●防災訓練(6限)

10月23日(水)

## ●中学修学旅行(3泊4日)

10月25日(金)

安中・会津若松方面

## ●高校修学旅行(4泊5日)

10月25日(金)

北九州方面

## ●遠足

10月29日(火)

## ●PTA通学路清掃

11月2日(土)

## ●秋季宗教教育強調週間

11月4日(月)

## ●宗教教育教職員研修会

11月6日(水)

## ●中一フィールドワーク

11月7日(木)

## ●創立記念礼拝(高校)

11月13日(水)

## ●中学同和教育映画会

11月13日(水)

## ●PTA授業参観懇談

11月14日(木)

## ●中学音楽会

11月15日(金)

## ●創立記念礼拝(中学)

11月20日(水)

## ●高3期末テスト

11月20日(水)～28日(木)

## ●校祖墓前早天祈禱会

11月29日(金)

## ●高2以下期末テスト

12月2日(月)～7日(土)

## ●クリスマス祝会

12月6日(金)

地域の人々と共に

## ●クリスマス特別礼拝

12月11日(水)

## ●高校同和教育映画会

12月12日(木)

## ●中3造幣局見学

12月16日(月)

## ●運動部心臓検診

12月17日(火)

## ●終業式

12月20日(金)

## 女子中高

## ●夏期学舎

7月24日(水)～28日(日)

夏休みに希望者を募って、高校生対象で白馬岳登山、中学生も含めて八方尾根・戸隠へ自然との触れ合いの学舎を行った。なお、休命中希望者対象の学舎としては、春に中3・高1でスキー学舎を実施している。

## ●文化祭

10月3日(木)・4日(金)

## ●バザー

10月5日(土)

バザーは1903(明治36)年ミス・デン



トンにより始められた女子部の伝統のある行事である。近年は文化祭とつながって、10月の第1土曜日に実施しており、同窓会・幼稚園・父母の会・女子中高の四団体の共催で行われている。今年は夏休み前に猛威を振るったO-157食中毒の影響で食品関係の調整、変更など関係者と連絡を取り、準備

に苦労した。

### ●収穫感謝礼拝・施設訪問

11月9日(土)

春の「花の日礼拝」は花を、この秋の「収穫感謝礼拝」は果物を持ち寄って特別礼拝を守った。放課後は希望者を募って、持ち寄った果物を持って市内八か所程の施設を訪問した。

### ●クリスマスページェント

12月17日(火)

毎年、午前と夕方の2回礼拝を守っている。午前は本校生徒のみで、夕方は施設の方や保護者・卒業生等と一緒に守っている。今年度は特に京都老人ホームの方々を招待し、生徒の接待で簡単な夕食をして頂いた後、クリスマスページェントを守った。

### ●芸術鑑賞

1月13日(月)

芸術鑑賞は演劇と音楽を毎年交互で実施しているが、今年は新装なった京都コンサートホールで京都市交響楽団の演奏を中学高校合同で鑑賞した。

### ●文化週間

1月16日(木)～22日(火)

高校生徒会主催で文化系のクラブの発表・展示等を行った。また期間中には同志社大学卒業でオリンピック選手の奥野史子さんの講演会も開かれた。

## 国際中高

### ●2学期始業式

9月2日(月)

### ●体育祭

中学 9月27日(金)  
高校 9月25日(水)

各ブロックごとに得点を競いあい、エキサイティングな一日を過ごした。

### ●文化祭

9月28日(土)・29日(日)

病原性大腸菌O-157流行の影響で、例年の生徒の模擬店は中止されたが、舞台発表、クラス展示、バンド演奏、古本市、父母の会主催バザーなど盛りだくさんの行事が開催された。

### ●入試説明会

10月12日(土)・26日(土)

両日とも、中学、高校合同の入試説明会。

### ●社会科見学

10月25日(金)

中学全学年 奈良公園周辺オリエンテーション  
高校1年 京都東山歴史散策

高校2年 飛鳥史跡サイクリング  
高校3年 関西学術研究都市施設見学

### ●同和教育週間

10月28日(月)～11月2日(土)

講演会 11月1日(金)  
中学「そのまんまで素敵だ」

糸井国雄(ベスタロッツ保育園園長)



高校「被差別民衆の担った文化と技術

―日本賤民史の根本を探る―

沖浦和光（桃山学院大学教授）

### ● 中学保護者会

11月2日(土)

授業参観の後、保護者会を行い、その後、各クラス懇談を行った。

### ● 秋季宗教教育強調週間

11月5日(火)～9日(土)

特別礼拝

11月5日(火)

「隣人へのめざめ」

梶原 寿（名古屋学院大学教授）

### ● 中学3年生体験学習

11月10日(日)・11日(月)

富山県の氷見・島尾海岸で、漁業についての見学・体験学習を行った。

### ● 父母の会 文化講演会

11月15日(金)

「大人の空間」

木下明美（ジャーナリスト）

### ● 2学期終業式

12月7日(土)

### ● クリスマス礼拝

中学

12月18日(水)

「あなたがたのために」

関谷直人（同志社大学神学部助手）

高校

11月16日(土)

「夢で聞いた声」

深田未来生（同志社大学神学部教授）

### ● 高校入学試験（帰国生徒12月A選考）

ロンドン（12月14日）、ニューヨーク（12月17・18日）、ロスアンゼルス及び本校（12月21日）の各地で入試を実施した。

### 1997年

### ● 3学期始業式

1月8日(水)

### ● 高校2年生保護者会

1月25日(土)

今年度の進学状況及び沖縄研修旅行について説明した。

### ● 中学入学試験

1月29日(水)

帰国生徒、一般生徒、編入生の試験を行った。

### ● 高校入学試験

帰国生徒A選考・2年編入試験

2月4日(火)

帰国生徒B選考・一般生徒G選考

2月5日(水)

一般生徒G選考

2月6日(木)

### ● 中学合唱フェスティバル

2月15日(土)

保護者及び田辺町の一人暮らしの老人の会「むつみ」を招待して、各クラス自由曲発表、全校生徒合同合唱を披露した。父母の会コーラス「国際エコー」も

賛助出演。

## 中学校

### ● 夏期キャンプ

1年生（全員参加） 7月21日(日)～29日(月)  
四期に分けて各期二泊三日で、京都府宮津市由良の本校キャンプサイトへ。  
2年生（全員参加）

7月21日(日)～8月2日(金)  
四期に分けて各期三泊四日で、長野県

### 同志社中学校インターネット・ホームページ開設のお知らせ

大学の「WWW 公開用サーバ利用」許可がおりましたので、12月10日より中学校のホームページを開設しました。ご覧ください。

内 容・構成

- \* 学校紹介
- \* 学園同志社 ・ 学校概要（入学、進学関係）
- ・ 本校教育の目標と特色 ・ 教科教育
- ・ クラブ活動 ・ Open Space
- ・ School Life Now

URL

<http://www1.doshisha.ac.jp/~jnr-high/>



白馬村岩岳をベースに、唐松岳登山・梅池自然園の散策に。

● 体育祭

9月20日(金)  
於 本校グラウンド

● 学園祭

9月25日(水)～28日(土)  
於 本校および学生会館

各学年行事、生徒会行事、クラブ展覧会  
および風間浦中学校との交流会。

● 中間考査

10月22日(火)～24日(木)  
10月25日(金)

● 全校バレーボール大会

於 本校グラウンド

● 宗教人権週間

11月5日(火)～9日(土)  
梶原寿先生(名古屋学院大学)、マーサ・メンセンディック先生(大学文学部)、高

橋詠子先生(梅花女子中高)による礼拝  
奨励のほか、人権諸行事を実施。

● 読書週間

11月11日(月)～16日(土)

● 収獲感謝礼拝

11月16日(土)

奨励・脇田豊先生(白川学園)

於 大学明德館21番教室

● 創立記念礼拝

11月21日(木)

奨励・小崎眞先生(女子中高)

於 大学明德館21番教室

● 期末考査

12月2日(月)～6日(金)

● 能・狂言観賞

12月12日(木)

3年生(全員参加)

国語授業の一環として実施。

於 河村能楽堂

● クリスマス礼拝

12月20日(金)

於 大学明德館21番教室

● スキーキャンプ

12月23日(月)～27日(金)

3年生(自由参加)

四泊五日で、長野県志賀高原一の瀬スキー場へ。292人参加。

本誌第88号(1990年1月発行)に誤植がありました。  
おわびして訂正いたします。

(訂正箇所)

169頁上段

(誤) 3月10日没  
(正) 2月10日没

## ●市制施行に伴う田辺キャンパスの住所変更について

1997年4月1日から田辺町が京田辺市に変わることによって、  
田辺キャンパスの住所がそれぞれ次の通り変更される。

大学

京都府京田辺市多々羅都谷1-3

女子大学

京都府京田辺市興戸南鉾立97-1

国際中学高校

京都府京田辺市多々羅都谷60-1